



研修修了式

## 研修コースとサブコース

	期間	概数	内容
S	12ヶ月 (10月-9月)	5	地震学的知識 地震観測技術
E	12ヶ月 (10月-9月)	10	構造解析 構造力学
T	12ヶ月 (10月-9月)	5	津波危険度評価 早期警報システム
G	2ヶ月 (1月-3月)	20	地震観測 核実験探知のための データ解析
L	2ヶ月 (5月-7月)	14	中南米の建物耐震 技術 (スペイン語)
I	任意	数人	地震学 地震工学 津波防災

# 国際地震工学研修を ご存じですか？

## 概要

国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センター (IISEE)では、開発途上国の研究者・技術者を対象に、地震学・地震工学・津波防災に関する研修を実施しています。

研修は、昭和35年に開始されましたが、研修修了者は、令和元年9月現在で、102ヶ国1,898名になります。

## 問い合わせ先：

国立研究開発法人建築研究所  
国際地震工学センター

住所：〒035-0802  
茨城県つくば市立原1  
TEL:029-879-0680  
FAX:029-864-6777  
e-mail: iisee@kenken.go.jp  
Web: <http://iisee@kenken.go.jp/>



国際地震工学研修  
IISEE

INTERNATIONAL INSTITUTE  
OF SEISMOLOGY  
AND EARTHQUAKE  
ENGINEERING

国立研究開発法人建築研究所



研修旅行

## 国際地震工学研修とは？

こちらをご覧ください。



<b>S</b>	地震学コース
<b>E</b>	地震工学コース
<b>T</b>	津波防災コース
<b>G</b>	グローバル地震観測コース
<b>L</b>	中南米地震工学コース
<b>I</b>	個別コース

2008年に発生した中国四川大地震の日本政府の復興支援の一環として実際した中国耐震建築研修(2009-2012)や、大きな地震災害の多い中南米諸国を対象として中南米地震工学研修(2014-2019)など、テーマを設定した短期間の研修もその時々実施しています。

## 研修修了生はどこに？

IISEEの研修修了生は、政府機関、国立研究機関、大学等の責任者や教授として活躍しています。

「IISEEの修了生ですか？」と上司や周りの人に聞いてみて下さい。

IISEEは、皆様と一緒に活動します。皆様の国には、IISEEで学んだ知識と経験を必要としている人々が大勢います。

## 応募方法は？

応募用紙は、各国のJICA事務所から配布されます。詳細については、IISEEのホームページをご覧ください。また、各国のJICA事務所か日本大使館にお問い合わせください。

[\\*http://iisee.kenken.go.jp/?p=faq#q4](http://iisee.kenken.go.jp/?p=faq#q4)



研修旅行



学位授与式（政策研究大学院大学にて）

国際地震工学研修は、国際協力機構（JICA）と協力して実施しています。研修生は、日本政府開発援助によるJICA研修員受入事業として募集されます。研修生の研修と滞在に関する経費は日本政府（建築研究所とJICA）が負担しています。

## 修士号プログラム

地震学、地震工学、津波防災の1年間の研修コースを修了した研修生は下記の要件を満たす場合、修士号が授与されます。

- (1) 1年間の研修を修了する。
- (2) 研修講義科目の必要単位を取得する。
- (3) 修士論文を提出する。

研修生は、政策研究大学院大学（GRIPS）と建築研究所から修士号「修士(防災政策)」を授与されます。

平成17年度から開始された修士号プログラムによって、令和元年9月現在289名の研修修了生が、修士号を授与されています。